

「水引小学校の寄田三尺棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立水引小学校
2. 学年・人数	4年生 13人 5年生 19人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年9月～10月 水引小体育館 (2) 発表の日時・場所 令和6年11月1日 第11回校区総合文化祭 水引小体育館 令和6年12月20日 薩摩川内市誕生20周年記念日中友好薩摩川内市・ 常熟市文化交流事業 国際交流センター ※ 課外では新田神社御田植祭などにも参加（希望した児童のみ）
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 寄田三尺棒踊り（よりたさんじゃくぼうおどり） (2) 由来 起源は諸説ある。その昔、農民が自衛のため六尺または三尺の棒をもって木刀術を習得したことにありとされているが、一説には田打ち行事の一つで、地面をとんとんつくのは田開きで虫追いだとする農耕儀礼説もある。終戦後しばらく途絶えていたが、昭和38年に新田神社御田植祭（6月）に伴う芸能として県無形民俗文化財に指定され、昭和46年に青年団により復活した。平成元年からは小学生も加わり活動するようになった。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	第4学年ふるさと・コミュニケーション科「単元名：地域の伝統芸能を知ろう」の学習として、11月開催の「校区総合文化祭」で舞台発表を行っている。保存会の皆さんから踊りの指導をしてもらったり、地域の調べ学習等で地域の方と交流したりしながら、伝統文化を継承する大切さについて学んでいる。令和6年度は児童数の減少に伴い、5年生児童との2学年での取組を試行した。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 <p style="text-align: center;">保存会の方に指導を受ける様子                      国際交流センターでの発表</p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【4年生児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化祭だけでなく、新田神社の御田植祭や日中友好交流事業でも踊ることができて嬉しかった。来年の御田植祭にも参加したい。</li> </ul> <p>【保存会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎年子供たちが一生懸命練習するので、教えていてやりがいがある。先生方も伝統芸能を受け継ぐ意義を理解して関わってくださるので、ありがたい。「寄田三尺棒踊り」の伝統を引き継いでいくこの取組を今後も継続してもらいたい。</li> </ul> <p>【4年生担任】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寄田三尺棒踊りの取組を通じて、学校と地域とのつながりや信頼関係を築けたことがとても嬉しかった。子供たちは、この体験を通じて伝統工芸や伝統芸能などへの関心が高まり、社会科の学習にも主体的に取り組むことができた。子供たちの体験と学びがつながるよい機会となった。</li> </ul>